

## 医療・看護安全対策委員会情報 2011. 10月号 (NO. 90)

MRI 検査についての続編

協会たより 8月号 (NO.88) に『MRI 検査時の高周波電流のループによる熱傷』について情報提供の続編がPMDA 医療安全情報より出ました。



MRI 検査時の注意について

### やけどに関する注意事項

- ポジショニング時に、患者さんの腕・脚等の皮膚どうしが接触していないことを確認する。
- 患者さんに対して、検査中は体位を変えたりしないなど、動かないように十分伝えておく。
- RF コイルや心電図モニター等のケーブル・コード類は患者さんの皮膚に接触させない。

### 金属吸着に関する注意点

- MRI 検査室に入室する前には、磁性体金属がないか、必ず確認する。

飛んできた酸素ボンベやストレッチャーが患者さんや医療従事者などに衝突し、負傷する事故などが報告されている。

患者だけでなく、患者さんを案内する医療従事者も下着についている金属やヘアピンなども引きつけられるので注意が必要。”

### 手指の挟み込みに関する注意点

- 患者さんに対し、検査中は天板を握らないように十分伝える。

天板を握っていると、手指が寝台に挟み込まれるおそれがあります。

CT 装置なども同様の構造のため、注意が必要です。  
姿勢を維持することが難しい患者さんには、固定バンドを活用する。

### 医療行為以外でも MRI 磁性体吸着事故が起きています

- MRI 検査室内における、工事や日常の清掃・室内設備の保全作業において、MRI 装置に磁性体工具や清掃用具などが吸着される事故が発生しています。

#### ■PMDA医療安全情報No. 25 (その1)、No. 26 (その2)

「MRI 検査時の注意について」

[http://www.info.pmda.go.jp/anzen\\_pmda/file/iryo\\_anzen25.pdf](http://www.info.pmda.go.jp/anzen_pmda/file/iryo_anzen25.pdf)

[http://www.info.pmda.go.jp/anzen\\_pmda/file/iryo\\_anzen26.pdf](http://www.info.pmda.go.jp/anzen_pmda/file/iryo_anzen26.pdf)

MRI 室入室前のチェックリストを日本画像医療システム工業会が作成しています。

#### ■(社)日本画像医療システム工業会

<http://www.jira-net.or.jp/anzenkanri/top/index.html>